

授業科目名・形態	基礎看護技術演習Ⅱ 演習		必修・選択の別	必修	
担当者氏名	小玉光子・黒澤繭子・小畑千春・千葉孝子・高山新吾・伊藤洋介	開講期	1年後期	単位数	1

【授業の主題】

基礎看護技術論Ⅰ・基礎看護技術演習Ⅰで学んだ知識や技術を活用し、診療に伴う援助を安全・安楽に実施するための専門知識と根拠について学ぶ。

【到達目標】

1. 診療に伴う援助に関する基礎知識を理解できる。
2. 診療に伴う援助を安全・安楽に実施するための基本技術を習得できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 感染防止の技術 手袋の装着方法、ガウンテクニック
- 第3回 創傷管理技術 無菌操作、創傷処置、包帯法
- 第4回 排泄援助技術(3)導尿
- 第5回 症状・生体機能管理技術 静脈採血
- 第6回 与薬の技術(1)注射作成
- 第7回 与薬の技術(2)皮下・筋肉内注射
- 第8回 与薬の技術(3)点滴静脈内注射
- 第9回 呼吸・循環を整える技術 酸素吸入療法、吸引、安楽確保の技術 冷・温罨法
- 第10回 呼吸・循環を整える技術 酸素吸入療法、吸引、安楽確保の技術 冷・温罨法
- 第11回 食事援助技術 食事介助と経口与薬
- 第12回 フィジカルアセスメント(1)呼吸器
- 第13回 フィジカルアセスメント(2)循環器
- 第14回 フィジカルアセスメント(3)腹部
- 第15回 まとめ (技術チェック)

【授業実施方法】

演習

【授業準備】

基礎看護技術演習Ⅱは、基礎看護技術演習Ⅰよりもさらに高度な技術の習得になります。基礎看護技術論Ⅰ・基礎看護技術演習Ⅰを復習し、授業内容に関連した教科書の章及び「写真でわかる実習で使える看護技術」の章を十分に読んで演習に臨むこと。

【主な関連する科目】

総合科目、専門基礎科目、看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習Ⅰ

【教科書等】

基礎看護技術論Ⅱと同様

【参考文献】

基礎看護技術論Ⅱと同様

【成績評価方法】

技術チェック (95%)、出席状況・演習態度 (5%) から総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

看護技術の基本となります。特に基礎看護技術演習Ⅱでは患者さんに侵襲を与える技術もありますので、予習・復習を十分に行ってください。授業時間以外でも繰り返し練習をして技術を体得し、患者さんに安全で安楽な看護技術を提供できるよう知識・技術を習得してください。